

環境と人にやさしい ゴルフとゴルフ場

第8回

教育現場からの校庭芝生化のメリット

中野区立武蔵台小学校
校長 櫻井 茂

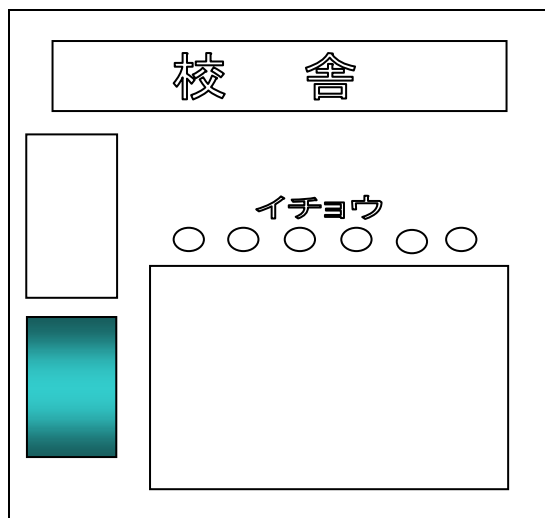


中野区は、東京都 23 区の西に位置し、人口約 31 万人の住宅が中心の町です。区の中心部を東西に J R 中央線や総武線、地下鉄東西線のほか、南には地下鉄丸の内線、北には西武新宿線や西武池袋線が通っています。また、道路は環状 7 号線や青梅街道などが縦横に走っています。

中野区立武蔵台小学校は、そうした中野区の北端に設置されています。学区域はほとんどが住宅地ですが、若干、畑地も残っています。現在の児童数 496 名で、15 学級の区内では規模の大きい学校といえます。

さて、当校の校庭は、約 3000 m²が芝生化されました。校舎に面した校庭の校舎側にはイチヨウの木が東西に 6 本並んで植えられており、このイチヨウの木の南側に広がる校庭を芝生化したわけです。

「校庭の芝生化」は、平成 17 年度にまとめられた中野区教育ビジョン実行プログラムの十大プロジェクトにより推進されています。それを受けて、平成 18 年度に中野区立小学校 1 校、19 年度に本校が 1 校、20 年度に小学校 4 校が校庭の全面または一部を芝生化しました。



1 芝生化のねらいと期待される効果

筆者が、一番に芝生化しなければならないと考えたのは、地球温暖化防止やヒートアイランド現象に対する防止策からです。南太平洋のサンゴの島「ツバル」が海面上昇により住宅地にまで海水が上がったり、グリーンランドの氷床が解けて白熊やアザラシが危険にさらされていたりなどの報道を見ていました。また、夏には毎日のように最高温度を更新したり、台風で河川が氾濫するなどの異常気象が続き、環境の変化を実感していました。

その温暖化防止の有効な手段の一つとして緑化があげられると思いました。学校の敷地は広い面積を持ち、都市の中にもいたるところに設置されています。学校の芝生化を推進することは未来の子どもたちへの当然の所産として、実施に踏み切りました。そのほか、校庭を芝生化することによって、次のような効果が期待できると考えていました。

- ・屋外で遊ぶ機会を増やし、体力を向上させることができる。
- ・土場の校庭よりも怪我が減少し、女の子も遊ぶようになる。

- ・地域の方と子どもの触れ合いが増える。
- ・砂塵が防止できる。
- ・環境教育を今以上に推進することができる。

などがメリットとして考えられました。



2 芝生の工事と種類・養生

5月連休明けから工事が始まりました。校庭の表面を20cm程削り取り、さらにその下に排水用のパイプを埋めて表層まで砂を入れました。



芝生の校庭で遊ぶ子供たち

6月の中旬に、全校児童が業者の指導を受けながら夏芝（ティフトン）の苗植えをしました。それ以降8月末まで養生期間となりました。芝が根付いた7月中旬からは、保護者や職員、子どもたちで芝刈りをしました。

また、維持管理組織として、「武蔵台小学校の芝生を守る会」を発足させました。そして、8月末に芝生開きを行い、子どもたちがのびのびと芝生の校庭で遊ぶようになり、9月末の運動会に向けて練習も始まりました。運動会が終わるとす

ぐに、業者による冬芝の種まき（ペレニアルライグラス）をして10月末までが養生期間になりました。



3 芝生効果

本校には、エンジンつきの自走芝刈り機1台と手押し芝刈り機30台があります。7月に入り、学校便りで芝刈りを呼びかけたところ20人以上の地域の人や保護者、子どもが参加してくれました。2回目には30人、3回目には40人位と、だんだんと増えていきました。

その理由は、芝生の匂いや芝生を踏む感触がなんともいえず気持ちよいということからでした。その他、芝生化には次のような効果があげられます。

- ・晴れた日に表面温度を測定したところ、芝生はアスファルト舗装より15℃、土場でも5℃程低いという結果がでました。

- ・芝生の上で追いかけてっこをしたり、側転を練習したり、寝転がったりする姿が見られるようになりました。女の子も外で遊ぶようになりました。

- ・怪我で保健室に来る子どもたちの数が減少しました。

- ・長期休業中や土・日曜日には、今まで以上に親子で遊んでいる様子が見られるようになりました。父親が芝生に寝てい



地域の住民も参加して校庭で野外コンサート

たり、母親がよちよち歩きの幼児を連れて遊んでいたり、祖母と孫が散歩したりする姿が見られ公園のような感じです。

- ・砂塵が減り、校舎内の汚れや近隣住宅への迷惑が減少しました。
- ・運動したり遊んだりする日が増えました。これは、芝生化したからこそわかった効果です。芝生化前の校庭は、水はけが悪くて長雨や大雨があると校庭がぬかるんで使用できない日が何日間か続きました。芝生化後は、雨がやめばすぐに芝生部分で遊ぶことができます。



雪が降ったときには芝生効果を一層実感しました。冬季は、霜よけに毎日シートをかけます。放課後の校庭で遊んだ子どもたちがシートをかけて下校します。翌朝、登校してきた子どもたちがシートをはずします。今年の2月には2回雪が降りました。本校では、休み時間に雪だるまを作ったり雪合戦をしたりして遊ぶことができました。これは土の運動場の学校では、積雪が少ないのでできません。本校ではシートの上に積もっているので、積雪が少なくても綺麗な雪だるまや雪球

ができるのです。子どもたちは大喜びでした。そして、雪で遊んだ後にシートをはずせば芝生の校庭が使えるのです。

以前は、校庭に雪が降れば夜中に凍りついてしまいました。校庭が使えるようになるまでには1週間以上かかりました。芝生化により半日もすれば芝生の上で遊んだり運動したりすることができるのです。

・赤とんぼやバッタが見られるようになりました。ムクドリやセキレイなどの野鳥がたくさん飛んできました。カモが5羽芝生の上で休んでいるのを見たときには驚きました。



最後に

本校の子どもや保護者、地域の方が芝生の学校を誇りに思うようになりました。